



No.724

元気、無限大∞



わくわく!



「活力のある涌谷町」の復活へ向け、 大橋信夫町政がスタート。



ものです。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から4年6か月が経過し、復旧、復興も内陸部では目に見える形で進んでおりますが、被害の甚大な沿岸部におきましては、まだまだ道なかばの感がしており、地域経済にも暗い影を落としております。

このことは、単なる一自治体の問題ではなくマクロ的な課題として、地方の力が問われているのではないかと思っております。

増田元総務大臣が座長である日本創成会議において「全国で約半数の自治体が消滅する」という警告にもそれが裏づけられております。

私は、涌谷町が抱える課題である「人口減少問題」「働く場所の確保」「二次産業の衰退」「少子高齢化問題」等を、できるだけ早く打開し、次世代の子どもたちが誇

りと自信を持って生活することが出来、他の町に誇れる涌谷町をつくるため誠心誠意努めてまいり、覚悟でございますので、町民の皆さまのご理解とご協力を強くお願いするものであります。

ここで、当面の町政運営にあたり、私の施策や、政策目標の一端をご紹介します。

涌谷町には、先人が築き上げてきた歴史・文化遺産として「日本初の産金の地」「巨理元宗公・重宗公が開城した城下町」「天皇家の勅願寺篁峯寺」と多くの歴史・文化遺産を有しており、これらをまちづくりの起爆剤として全国に情報発信してまいります。このことは、現在策定しております第五次涌谷町総合計画にしっかりと位置付け、町政運営にあたってまいり所存であります。

私は、今回、涌谷町が町政運営の基本とすべき政策を、5つの項目に大別しその政策を訴えてまいりました。

第一の政策 安心して 生み育てられる支援

第一は、町の宝である子どもを育てる子育て支援であります。

日本の社会全体が少子高齢化する中で人口減少をくい止めることは困難であると承知しておりますが、涌谷の未来のために、あえてこの課題に全力を挙げて挑戦し、人口減少の抑制を図ってまいります。

当町においてはピーク時には2万4千人余あった人口が、現在では1万7千人を割ろうとしている状況であります。



安心して子育てができる環境づくりを

この度、8月の町長選挙において、多くの町民の皆様方から、ご支持とご支援を頂き、この場に立ち挨拶させていただきましたことに、心から御礼申し上げます。

そしてまた、町長という大変な重責を担った使命感に、改めて身の引き締まる思いであります。

私は、この涌谷の町が「活力のある町」へ復活するために、覚悟を新たにし、まちづくりに努めてまいり所存でございますので、更なるご指導とご鞭撻をお願いする

生まれてくる子どもの人数が年々減少する一方、亡くなる方の人数が年々増加しており、人口減少に歯止めがかからない状態が続いております。

この状況を変えるためには、お母さん方が安心して子どもを産み、育てられる環境づくりに早急に取り組む必要があります。

町の活力の源は子どもでもありません。その子どもを産み、育てていただくために「保育料」、「教育費」、「医療費」、「オムツ代」、「妊産婦支援」などの負担を軽減する対策に取り組んでまいります。

また、「児童館」、「学童保育」のための施設整備や、義務教育課程における教育費の負担軽減をいたします。

また、地元にある涌谷高等学校の教育振興会の支援と、普通科のみであります学科を再編していただくよう強く県へ要望してまいります。

それから、若い世代が定住できる環境づくりとして、子育て世代対応の若者向け公営住宅建設の検討に取り組んでまいります。

第二の政策 地域包括

ケアシステムの確立

第二は、保健、医療、福祉、介護の更なる充実で、健康で温かな暮らしであります。

涌谷町は昭和63年に「町民の健康と、急速に進展する高齢化社会」に対応するため、病气予防から在宅リハビリまでのサービスを含めた「保健、医療、福祉」の地域包括医療システムの確立を目指し町民医療福祉センターをオープンいたしました。

開設から28年が経過した現在、国の制度も刻々変化し涌谷が目指した三身一体に介護が加えられ保健、医療、福祉、介護、認知症対策の新しい地域包括医療システムを策定することとしております。

施設介護に偏りがちなシステムから地域で見守る介護システム本来の方向づけを打ち出そうとしております。

涌谷町においても、国保病院を核として進める地域包括医療の再構築をしなければなりません。そこで宮城県とのパイプを十二分に生かし、大崎市民病院や石巻日赤病院との連携をしながら国保病院

の役割を果たせる体制の整備を図るとともに患者の確保や医療従事者の確保に取り組んでまいります。また、町内医師会との連携により涌谷町国保病院と地域全体で地域医療を支える体制確立に取り組んでまいります。

介護に関しては、地域を取り込んだライフステージに合った生きがいづくりの場の提供、そして民間導入も視野に箕岳地区において地域密着型ともいえるデイサービス施設の設置に取り組んでまいります。

また、町内の空き地、空き施設を活用した、高齢者や障害者の福祉施設の整備に対しても支援を行ってまいります。

第三の政策 農工商業振興による 地域経済の活性化

第三は、農業振興、商工業振興で活力のある生き生きとした暮らしであります。

農産物のブランド化やB級グルメの開発、また、生産・加工・流通をめざした六次産業化を進めるための組織として生産者、消費者、学識経験者、若手職員によるプロ

ジェクトチームを立ち上げ、農業生産・農産加工品の流通機構を確立し、起業家開拓・雇用の場の創出に努めてまいります。

これらの事業を支えることとなる人材育成や研修事業には惜しまない支援をしてまいります。

平成27年の転作率が40パーセントに達した今、50パーセントに到達するのは目前であり、今年の段階から、涌谷町に適した戦略を描ける新規農産物の開発と産地形成に取り組む必要があります。

さらに、点在する農地の生産力向上、高品質農産物生産、生産コ



農業を中心とした地域経済の再興へ

ストの削減を図るために生産組織の法人化を進め、土地利用調整対策と農業組織体、営農指導体制の強化を進め、青年就農給付金への町独自の支援と経営安定までの指導体制支援で、農業所得の向上を図り後継者の育成、確保に努めます。

これを実践するためには、時間を惜しむことは許されず次年度への計画実践に向けた検討を現場に指示したところであります。

農業振興、商工業振興といわれてきた産業振興の確立は現場においては全く体を成さず、涌谷町産業振興のために垣根を越えたあらゆる角度からの支援措置が求められておりますが、体制づくりのために行政の果たす役割を再認識し、対策を講じてまいります。

特に、雇用の確保においては、ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業を活用するなど支援策を強化し、涌谷町内で操業している既存企業の操業環境のインフラ整備、従業員の働く意



不変の輝きをたたえる産金の歴史

欲の喚起などに努めるためにも、

既存企業との意思疎通を強化し町の姿勢を示すとともに、企業誘致のためにあらゆるネットワーク、アンテナを用いトップセールスで雇用の確保に努め、若者の定住を図る施策に取り組んでまいります。

更には、「産業祭」、「NONDAKE CAMP2015」などにぎわいづくりのために町おこしに自ら取り組んでいる若者を支援し、継続性をもてる事業に成長させ観光振興の看板にしたいと思っております。

観光政策では、当町には、日本で最初に「金」が産出され、奈良・東大寺の大仏建立時に献上したという他の町にはない歴史があり、奥州三十三観音第九番札所籠峯寺、涌谷伊達家歴代の当主が祭られて

いる見龍廟などの歴史・文化遺産をリンクージュできるよう観光振興計画を策定してまいります。

特に、「金」は全世界共通の価値観がありますので、これを町のメインテーマとして全世界へ情報発信にすることも一つの方策として考慮中であります。

歴史は変えることはできません。涌谷町の持つ輝かしい歴史文化遺産を未来永劫に引き継ぐのが私たちの務めであります。

第四の政策 安全・安心な暮らしを支える防災対策

第四は治山、治水、防災対策であります。

涌谷町は、国が管理する一級河川、江合川、旧北上川。県が管理する田尻川、出来川、旧迫川があり、さらには当町の宝の山である篁岳山系の大自然があります。時として自然災害をひきおこし人間社会に牙を剥いてまいります。この自然災害に対応する総合的な水管理対策と避難対策が求められてまいります。

特に、異常気象が日常的な今日、洪水ハザードマップの見直し、県

内有数ともいわれる土砂災害警戒区域の再点検、避難対策、避難所の見直し、更に今回、9月11日に発生いたしました台風18号に伴う大雨被害を教訓とした防災対策、広域、複数、複合災害への対応は、職員対応には限界があり、救援をお願いする消防、警察、自衛隊への災害対応策の策定など防災対策の確立が急務であるところから、全行政区に立ち上げられた自主防災組織の運用確立、町民が全幅の信頼を寄せている消防団の装備充実と定員確保に努めてまいります。防災対策には道路整備が欠かせません。

篁岳地区における、県道、河南・築館線が一部未整備となっており、子どもたちの通学の安全のためにも早期の整備が必要であり、整備すれば篁岳地区の動脈となり物流は盛んになります。

また、石巻・新庄間高規格道路構想がありますが、未だ国の事業化になっていません。

震災時には国道108号が震災物流の要となりましたが、この道路計画が将来の東北の横軸として沿線市町の発展、あるいは存続を左右するであろうとも考えるとき、

事業化は絶対必要であります。物が動けば人も動きます。その動きをどう捉えるかが問われています。

産業振興の起爆剤、観光資源にもなるはずで。

今、旅行者の目は、北陸、富山・金沢に向いています。

このような時、それぞれの街の工夫も大事ですが大崎圏域はどうすべきか。

「大崎定住自立圏共生ビジョン」の見直しを念頭に真の意味での共生を探るべきであります。

そのためには、災害対応や、地域医療充実、人口流出阻止、定住策の共有化、交流人口の拡大を進め、圏域全体の活性化を促進すべきであると考えております。

更に、集落ぐるみの生活環境の整備、枝道の融雪対策にも取り組んでまいります。

第五の政策 若者参加型の 協働のまちづくり

第五はともに拓く明日の暮らしであります。

町の活力を生み出すのは、若い方々が行政に参加する参加型のま

ちづくりであります。

町内で活動している若者世代が集い、町の将来について話し合える場や意見や提言が気軽に発表できるシステムを整備してまいります。

また、行政の情報公開や行政懇談会の定例化など積極的に説明責任を果たしてまいります。

現在、国が、最も力を入れていく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を最大限活用できる計画の策定とそれに専門に対応できる組織体制を作りたいと考えております。



若者の力をまちづくりのステージへ

歳入に見合った財政運営と 税収アップに向けた 取り組み

最後に、町の財政であります。

現在のところ健全な状況で推移をしておりますが、老朽化による公共施設の建て替えなど出費のかさむ事業が、今後増えてまいります。と同時に、地方交付税や国庫補助金の減額、あるいは少子高齢化の影響で、社会保障費の増加が予測されるとともに、国税の減収等により地方交付税等の依存財源の増額が非常に厳しくなります。今後は自主財源としての町税の確保が重要となってまいります。農業振興、商工業振興を更に強化し、町税の確保に努めるとともに、市街地の活性化や住宅地の充実拡張などの取り組みにより、更なる税収のアップに努めてまいります。今後の財源運用につきましては、限られた財源を有効かつ、効率的に活用すること、歳入に見合った財政運営を行い、健全財政の維持に努めてまいります。

涌谷町には人・自然・歴史・文化という沢山の財産があります。これらの豊富な財産を活かし、町の進むべき目標をよく見極め、し

がらみのない公正・公平な町政を行い、「住みたい、住み続けたい、住んで良かったと思うまちづくり」を推進してまいります。ごさいま

むすびに

以上が、私の所信となります。いずれの懸案に対しても議論を重ね、信頼と協調の上に、真の意味での町民の皆さまを第一とした行政運営を行ってまいりますので、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。あいさついたします。

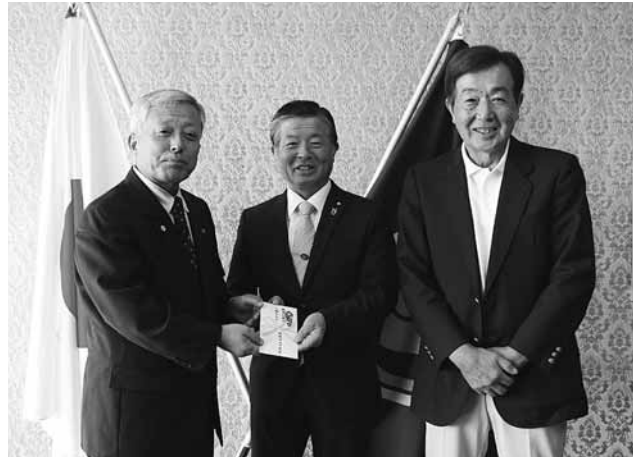
ベガルタ仙台に涌谷町産の新米で黄金パワー注入！
ベガルタ仙台黄金大使に新米贈呈



10月3日(土)に、ユアテックスタジアム仙台で開催されたベガルタ仙台のホームゲームにおいて、涌谷町黄金大使の菅井選手、金園選手、金久保選手、キムミンテ選手にそれぞれ10キロずつとベガルタ仙台に対して60キロの涌谷町産の新米が贈呈されました。

試合前に行われた贈呈式において、U-22韓国代表に選出されたキムミンテ選手に目録が手渡されました。

120名の方の善意が詰まった寄付金
チャリティゴルフの寄付金を贈呈



9月23日(水)に、宮城カントリークラブにおいて第41回涌谷町民ゴルフ大会が開催されました。

このゴルフ大会には、総勢120名の方々が出場し、その活動の一部をチャリティとして、寄付金を募り、集まったお金の一部10万円を教育行政の一助として、9月28日(月)に、涌谷町民ゴルフ大会実行委員会実行委員長本間伸一氏から涌谷町教育委員会へと贈呈されました。

キラキラの新米にはじける笑顔
涌谷の新米にみんなで舌鼓

今年も涌谷地域米づくり委員会から今年採れた新米150キロが涌谷町教育委員会に贈呈されました。

この新米は、さくらんぼこども園や涌谷保育園、小中学校の学校給食に提供されたほか、ゆうらいふや涌谷町国保病院でも提供されました。

夏の酷暑や初秋の天候不順がありました。涌谷の米づくりの名人たちによって今年も良い品質の米が作られました。皆さんもぜひ涌谷のお米を食べましょう。

《平成27年度の新米の品質》

| 品 種 | 品質評価 | タンパク質含量 |
|-------------------------|------|---------|
| ひとめぼれ環境保全米 | 75 | 6.1% |
| ササニシキ | 78 | 5.6% |
| 東北194号 (ササニシキ×ひとめぼれ) | 78 | 5.6% |

※品質評価は70以上、タンパク質含量は7%以下が良食味



(上)キラキラの笑顔でつやつやの新米をほおぼる
(下)ごはんバットが空っぽになった教室も多いはず

地域の安全と安心は新生涌谷中学校の私たちが守る！

防災教育居住地学習と 福祉体験活動

10月8日(木)に、涌谷中学校の3年生が各地域に出向き、防災と福祉に関する体験・学習が行われました。

防災については、生徒が自らの居住する行政区の方々の協力のもと、地域に潜む災害の危険性やその対策のあり方、避難経路、避難行動要支援者の住まいを確認。地域によっては、実際に要支援者の方の住まいを訪問したり、防災資機材の使用方法を確認する等の体験型の防災教育が行われました。

福祉体験活動では、涌谷町社会福祉協議会の協力により高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」を会場に、施設利用者の高齢者の皆さんや子育てサークル「エプロンおばさん」と遊ぼう広場」に来ていた未就園児とふれあい、福祉を体験。

参加した生徒は「はじめは接し方が分からず苦労したけれど、楽しくふれあうことができた」と話していました。

各現場で生徒たちの将来に大きく影響する体験をすることができたことでしょう。



(上) 避難経路と避難行動要支援者を地図上で確認
(下) 子育てサークルで自らも楽しみながら絵本を読み聞かせる

交通安全の願いよ、とどけ

篁岳小学校で交通安全レター作戦

9月24日(木)の早朝、長年篁岳小学校の伝統として行われてきた交通安全レター作戦が、今年も実行されました。

「安全運転、よろしくお願ひします」の掛け声とともに交通安全の願いを書いた手紙をドライバーに手渡しました。呼び止められ、はじめは驚いていたドライバーも笑顔で受け取っており、児童たちの願いが届いたようでした。



涌谷第一小学校で国際交流

花峯初等学校の児童が来町

10月9日(金)に、韓国ソウル市にある花峯初等学校の児童が、涌谷町を訪問し、涌谷第一小学校において交流会が行われました。

花峯初等学校から「ほたるこい」や「花は咲く」の歌とリコーダー演奏が披露され、一方で涌谷第一小学校が誇るマーチングバンドが盛大に奏でられ、両小学校が育んできた文化の交流が行われました。





汗だくで遊びに夢中！子どもが子どもを育てる

ジュニアリーダーと遊ぼう

10月4日(日)に、涌谷公民館で、小学生と中学生や高校生が遊ぶ子どものリーダーボランティア「ジュニアリーダーサークル・Wings」のイベントが開催されました。数か月かけて企画し、丸一日がかりで手作りされた巨大ダンボール迷路や新聞紙のプール等で、集まった50人以上の子どもたちが汗だくになりながら、時間が経つのも忘れ、遊びに没頭しました。



楽しみながら交通安全を学ぶ

交通安全フェスティバル

9月19日(土)に、イオン涌谷店を会場に交通安全フェスティバルが開催されました。関係団体の協力によって交通安全を啓発する「交通安全教育車による運転操作検査」や「踏切脱出体験」、「AEDの操作体験」等が行われました。合わせて「大型バイクの体験試乗」もあり、子ども連れの家族が大いに楽しみながら交通安全にふれました。



しろやま きん 城山の金さん徒然日記

映画「star~スター~」が完成!

9月26日(土)27日(日)の2日間、わくや天平の湯を会場に、涌谷町黄金大使の大和優雅監督の最新作「star~スター~」の披露とデビュー作「つるしびな」の再上映を行うイベントが開かれた。このイベントには、最新作で主演した大平隆行殿と緒方有里沙殿をはじめとして出演した方々もかけつけてくださり、舞台挨拶も行われた。涌谷町内をロケ地としていることからほっこりとするともに、震災被害を絡めつつ大和監督が描いた家族愛に大いに胸を打たれてしまった。会場内には涙する音も響きわたっていった。今後、ぜひもっと多くの方にご覧いただきたい!



写真) わしも出演陣の皆さんに交じって舞台あいさつに登場

子育て支援サークル・おひさまスマイル活動報告

ベジタブルクッキング開催!

9月30日(金)に、町民医療福祉センターにおいて、野菜ソムリエで幼児食アドバイザーの勝又千枝さんを講師に『ベジタブルクッキング』を開催。ほうれん草やさつまいもを使った野菜のクリーム大福作りをしました。栄養素を逃がさず、素材の味を引き出し、かつ、ミキサーや電子レンジを使った簡単な調理方法を楽しく学びました。試食では、参加者みんなで絶賛しながら、子ども達も交えて楽しく笑顔でティータイム。さつまいもとにんじんの調理法別の食べ比べもあり、甘みの違いを実感し、体にやさしく簡単なおかし作りを学ぶ機会となりました。



写真) 一緒に参加したお子さんもお母さんが作っているものに興味津々

秋晴れにはじける笑顔！

幼稚園・こども園・保育園で 運動会！

9月の週末、町内各地で園児たちが大活躍！
未来を担う子どもたちの勇姿をご覧ください。

ののだけ幼稚園 げんきいっぱい！ワクワク運動会



ももたろう運動会 みんながヒーロー！ 涌谷南幼稚園

さくらんぼこども園

本気にならなきゃ！
さくらんぼキッズ運動会



わくわく運動会 ～力を合わせてフルパワーでゴー！～ 涌谷幼稚園



涌谷保育園



自主防災組織400名が奮闘 平成27年度涌谷町総合防災訓練



10月18日(日)に涌谷公民館において総合防災訓練が実施され、町内全40自主防災組織から約400名の町民が参加し、防災意識の高揚を図るとともに、防災能力を研さんしました。

消防士による救助訓練



はしご消防車の試乗体験



倒壊家屋からの救助訓練



初期消火訓練



涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会による炊き出し訓練



応急救護訓練



協力機関による防災情報PRブース



自衛隊による救助訓練